

2024年5月17日

地盤ネットホールディングス株式会社

## 地盤安心マップ®PRO 大型アップデートを実施 ～新たなマップ情報を追加し、スコアリングを最適化～

地盤ネットホールディングス株式会社（所在地：東京都新宿区、代表：新美輝夫）の子会社、地盤ネット株式会社（東京都新宿区、代表：荒川高広）は、地盤ビックデータを活用した地図情報サービス「地盤安心マップ®PRO」の、初となる大型アップデートを実施し、2024年5月17日に公開いたしました。



### ◆深刻化する災害リスクにどう備えるか

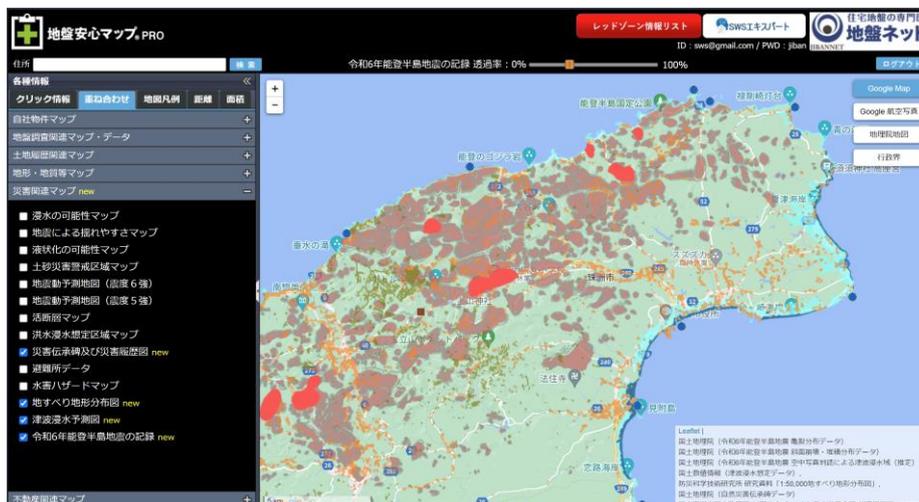
2024年に入り、1月1日の能登半島地震をはじめ、台湾の花蓮地震や四国地方の地震など各地で大きな地震が観測され、災害や地盤への関心がより一層高まっております。

今後、南海トラフ、首都直下、日本海溝・千島海溝沿い等の巨大地震発生への懸念も上昇するなか、災害による地盤リスクの把握は令和のマイホームづくりのデファクトスタンダードになると予想されます。

今回の大型アップデートにより、土地評価とリスク管理のためのデータ提供が大幅に向上し、住宅・不動産業界の事業者及び一般ユーザーに対して、より高度な情報を提供することが可能となりました。

今回追加したマップ情報は以下の通りです。

- ・災害伝承碑及び災害履歴図
- ・地すべり地形分布図
- ・津波浸水予測図
- ・R6 年能登半島地震の記録



R6 年能登半島地震の記録においては崩壊・亀裂・津波浸水情報を反映

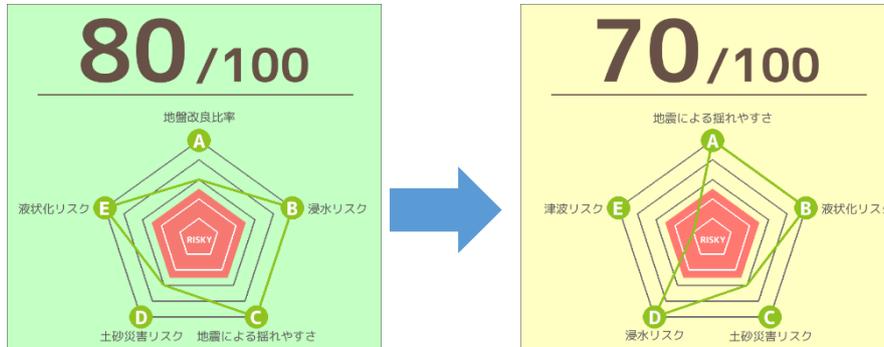
併せて、複数の既存マップ情報の更新も実施しました。

これにより、ユーザーは能登半島地震の記録まで網羅した最新の地盤リスクデータにアクセスでき、災害伝承碑で知らなかった過去の災害履歴を知るなど、新たな体験が可能となります。

#### ◆地盤安心スコアのスコアリングと地盤カルテ<sup>®</sup>リニューアル

今回のアップデートに伴い、地盤安心スコアのスコアリング最適化を実施。

地盤リスクの見える化を進化させ、より直感的にリスクが把握できるようになります。



地盤改良比率スコアから津波リスクに変更し、全項目を自然地盤由来の項目に調整したことで、純粋に地盤のもつ災害リスクを検討することが出来るようになりました。

地盤カルテ<sup>®</sup>サービスのリニューアルについては、5月22日(火)を予定しています。

詳しくは地盤ネットの公式 note ([https://note.com/jibannet\\_id](https://note.com/jibannet_id)) をご確認ください。

#### ■アップデートに伴い無料アカウントを限定公開します。

下記 URL からログインし、無料開放アカウントと共通パスワードを使用しご利用ください。

<https://www.jibanmap.jp/pro/login.php>

利用可能期間：5月31日(金)まで

無料開放アカウント

- ・freemap1@jibannet.co.jp
  - ・freemap2@jibannet.co.jp
  - ・freemap3@jibannet.co.jp
  - ⋮
  - ・freemap10@jibannet.co.jp
- 全アカウント共通パスワード  
mappro0531

#### 【使用上のご注意点】

数字部分を1～10まで選ぶことで各アカウントが使用できます。

同時ログインが不可の為、終了時には**ログアウト処理**をお願い致します。

※スマートフォンでのご利用には対応していません。

※期間中はトラブル防止の為、定期的に強制ログクリア処理を行います。



<本リリースに関するお問い合わせ先>

地盤ネット株式会社 事業企画部 広報担当

TEL：03-6265-1803 FAX：03-6265-1804 MAIL：press@jibannet.co.jp